

つながり

2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功を目指して！！

東京都立七生特別支援学校
校長 大和田 邦彦
担当者 福永 顕
平成30年12月25日
第2号（通算2号）

スポーツ推進事業の取組について♪

★【ラグビー体験】＊ラグビージャパントップリーグ「日野レッドドルフィンズ」来校

10月29日（月）選手とスタッフ10名が来校し、本校中学部の生徒とラグビー体験の授業を行いました。ラグビー競技の説明では、ボールのパススピードや投げる距離、ラインアウトの高さなど、トップレベルの選手たちの迫力あるプレーを目の当たりにして、大いに盛り上がりました。ラグビー体験では、「タックル用クッションを活用したコンタクト体験」「ラインアウト体験」「1対1体験」「10mラン体験」「尻尾（タグ）取りゲーム」「ペガールボール」を行いました。生徒はラグビーを存分に楽しむことができました。



★【タッチラグビー体験】＊タッチラグビー日本代表との交流

11月14日（水）に、本校高等部生徒とタッチラグビー日本代表選手とのアスリート交流会を実施いたしました。ワールドカップに4度出場している奈良秀明選手と日本体育大学タッチラグビーチームの選手を招いて、生徒たちは初めて触れ合う競技に興味津々、体験会が始まると代表選手にタッチをしたり、実際にラグビーボールを投げたり持ったりして盛り上がりを見せていました。体験を終えて、生徒たちからは「タッチラグビー楽しかった！」「またやりたい！」といった声上がり、充実した時間を過ごせたようでした。



★【ウィルチェアラグビー見学・体験】＊日本ウィルチェアラグビー連盟に所属するチームの選手来校

11月27日（火）に、ウィルチェアラグビーの選手2名をお招きし、本校中学部生徒と日野三中の生徒と合同でウィルチェアラグビー見学・体験会を実施しました。多くの生徒が初めて見るウィルチェアに興味津々。競技説明やデモンストレーションを熱心に観たり聴いたりしていました。タックルの模範では、激しくぶつかり合う音に歓声が上がっていました。体験では、代表生徒5名がウィルチェアでのリレーや選手によるタックルの体験をしました。体験した生徒の楽しそうな表情や大きな声で応援する仲間たちの姿が印象的でした。



運動等に関する教員向け研修の実施について☆

★「発達性協調運動障害（DCD）」に着目した運動等の指導について

8月29日（水）に、筑波大学准教授の澤江幸則氏を招聘し、「発達性協調運動障害（DCD）」に着目した運動等の指導について、教員向け研修を実施しました。研修のポイントは以下の通りです。

- ①指導者は、まずは、運動が苦手な子どもの気持ちの寄り添うこと。
- ②指導者は、「どうしてできないのか？」ではなく、「どうしたらできるのか」という視点に立って、指導の専門性を高める努力をすること。
- ③指導者は、学習の「目標」「課題」「結果」を明確にして授業を行うこと。研修で学んだことを今後の授業に生かしてまいります。



国際交流について♪（ARC東京日本語学校との交流）

★【小学部の取組】

9月10日（月）に、中国、タイ、ベトナム、オーストラリアから6名の留学生に来ていただき、低学年・高学年それぞれ45分ずつの交流を行いました。留学生の自己紹介の後、それぞれの国の果物・動物・挨拶の言葉などについて、イラストや写真などを交えながら、いろいろな話しをしていただきました。ドリアンなどのなじみのない果物に子供たちは興味津々でした。後半は、学年ごとに一緒にダンスで交流をしたり、給食を食べたりして、有意義な時間を過ごすことができました。



★【中学部の取組】

9月18日（火）に、中国、インドネシア、ベトナム、スイスからの留学生7名に来校いただき、国際交流を行いました。交流では、各国の文化や有名な建造物、言葉や食べ物についてわかりやすく教えていただきました。本校の生徒が考えた「ダンスや歌」を通しての交流や給食を一緒に食べるという形での交流もできました。事前に調べたことや新たに知ったことなどもたくさんあり、とても貴重な学習の機会となりました。



芸術教育の推進に関する取組について☆

★【パリンアートカップ2018】本校の作品が受賞しました！

今回、「SOMPOパリンアートカップ2018」に本校生徒2名の生徒作品が見事入賞しました。

高等部3年B組の小山桃子さんが絵本作家の宮西達也賞を、高等部3年D組の長谷部恵太さんが日本バスケットボール選手会賞を受賞しました。

作品作りは美術の授業ではなく、朝、昼、帰りの時間を利用して長い時間（1ヶ月程度）取り組んできました。小山さんは、世界をイメージした万国旗を基本に、オリジナルの自由な国旗を配置し、世界の繋がりを表現しました。また、様々なスポーツ種目のピクトグラムを使って、みんなにわかりやすいデザインに仕上げました。長谷部さんは、大好きなバスケットボールをテーマに、曼荼羅模様を丁寧に描き、トレーシングペーパーの半透明を生かした作品に仕上げました。キラキラ輝くバスケットボールは「希望」「力強く自分の手で希望をつかみ、未来へ繋げていけるように」という想いが込められています。今回の受賞が生徒の自信にもつながりました。



～繋かれ世界へ～（小山桃子）



希望～この手～（長谷部恵太）

日本の伝統文化に関する教育の取組について♪

★【日本の伝統文化の体験】＊三線での沖縄エイサー、三線の鑑賞、演奏体験

11月26日（月）と12月10日（月）に日本の伝統文化の体験として三線奏者の高橋航平さんをお呼びして、沖縄の音楽について学習しました。三線の音に合わせ、「唐船ドーイ」を一緒に踊り、三線の弾き方を教えていただきました。また、「三線に使用されている蛇の皮は何か？」という質問に対して、「沖縄といえばハブ！」と多くの生徒たちは答えていましたが、実際はニシキヘビが使用されていることを知ると驚く様子が見られました。2月の修学旅行に向けて、沖縄について学習を深めるとともに、日本の魅力ある伝統文化に触れることができました。

